

12月9日に勲章伝達式が行われました

12月9日、当協会会議室において令和2年度秋の叙勲を受章された保坂益男氏(旭日小受章)、山本和与利氏(瑞宝単光章)、山口孝人氏(瑞宝単光章)の3名に山梨会長より勲章が伝達されました。今年度は春に続き、国主催の伝達式等の一連の行事が中止されたことから当協会独自のスタイルで伝達式を行いました。

勲章伝達後に山梨会長は受章者の方々の功績を称えるとともに「今後とも健康に留意され、ますます機械土工の技術・技能を始め、業界の発展に貢献していただくことをお願いいたします」とお祝いの言葉を贈りました。

その後、受章者を代表して保坂常務理事は「人力主体で施工していた昭和の初めから時代の進歩と共に、現在は土工用建設機械での施工が主力となる進化を遂げています。世の中がどんなに進歩してもまた、建設機械や施工方法がどんなに変化しようとも、建設の基盤を作る土工工事がなくなることはないと思います。機械土工業界が社会的・経済的にも魅力ある職業となるよう尽力することを誓います」と謝辞を述べました。



祝辞を述べる山梨会長



勲章伝達の様子



謝辞を述べる保坂常務理事



(左から・向井相談役、山口氏令夫人、山口氏、保坂氏、山本氏、山梨会長)